

# 復興支援CSR デジタル空中写真撮影による被災地モニタリング

センサー技術部 西村 孝・滝川 正則  
 撮影部 しらきわ ゆうき 白澤 祐樹  
 経営企画部 まつざわ 孝晋

## はじめに

アジア航測は、2012年10月29日に環境省より「エコ・ファースト制度」の認定を受けました。このエコ・ファーストの約束の1つである「東日本大震災により被災した自然環境資源のモニタリング」では、被災した地域の自然環境を中心とした再生状況について、被災地区のデジタル空中写真撮影により定期的（年1回夏期）にモニタリングしていきます（撮影期間：2013年～2020年）。

撮影成果の画像データは、復興事業や自然再生事業、学術研究などの多くの分野で利用していただくことを目的に、当社HPで一般に公開しています。

また、東日本大震災発生から3年目（2014年）には復興状況の斜め写真を自主撮影し、画像データを復興庁等へ提供しました。今回、その活動状況と撮影成果をご紹介します。

## 空中写真撮影による被災地モニタリング

被災地モニタリングとして空中写真撮影を実施するエリアは、山田湾、大槌湾、広田湾、北上川、松島湾、仙台湾、本吉湾、松川浦の8地区です（2014年度より本吉湾と松川浦を追加）。撮影エリアは、地形変化による植生や生態系などの環境変化に関する視点を考慮し選定しています。

この8地区は、モニタリングの社会的必要性を踏まえ撮影計画を立案し、2020年まで継続的に空中写真画像（RGBと植生把握に適した近赤外）を取得する予定です。

表1 撮影諸元

撮影カメラ	デジタル航空カメラ (DMC)
地上画素寸法	10cm～20cm
オーバーラップ	60%
サイドラップ	30%
画像データ	RGB、近赤外

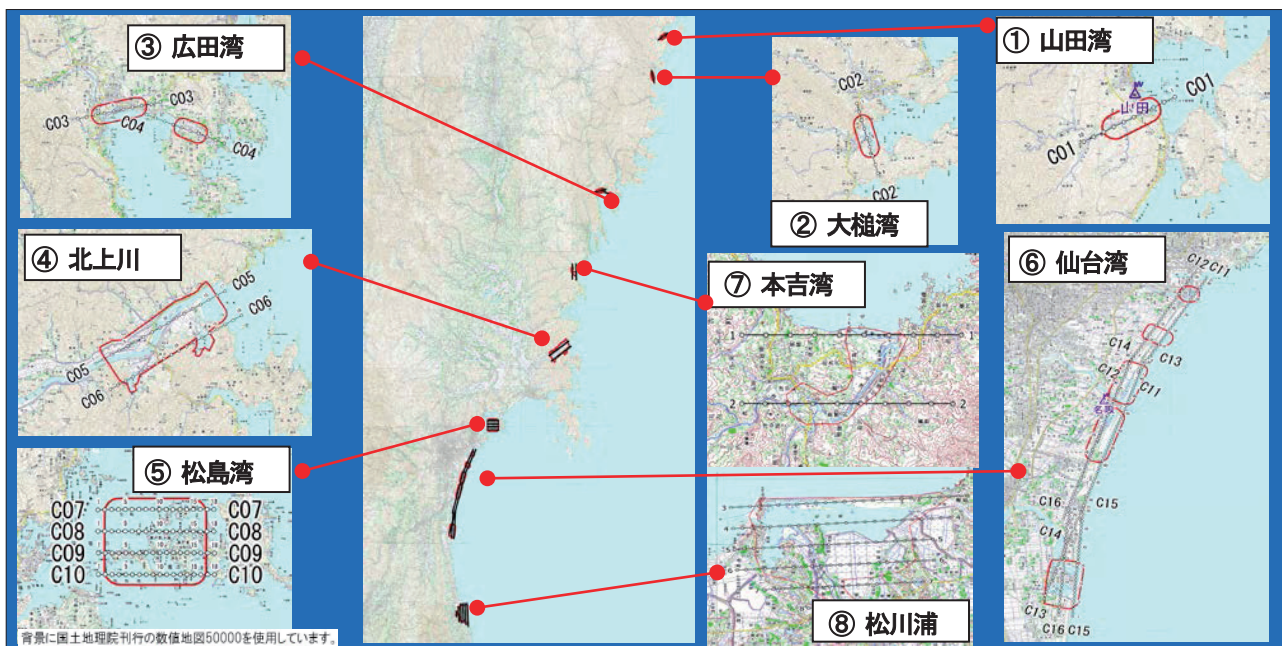


図1 被災地モニタリング空中写真撮影範囲

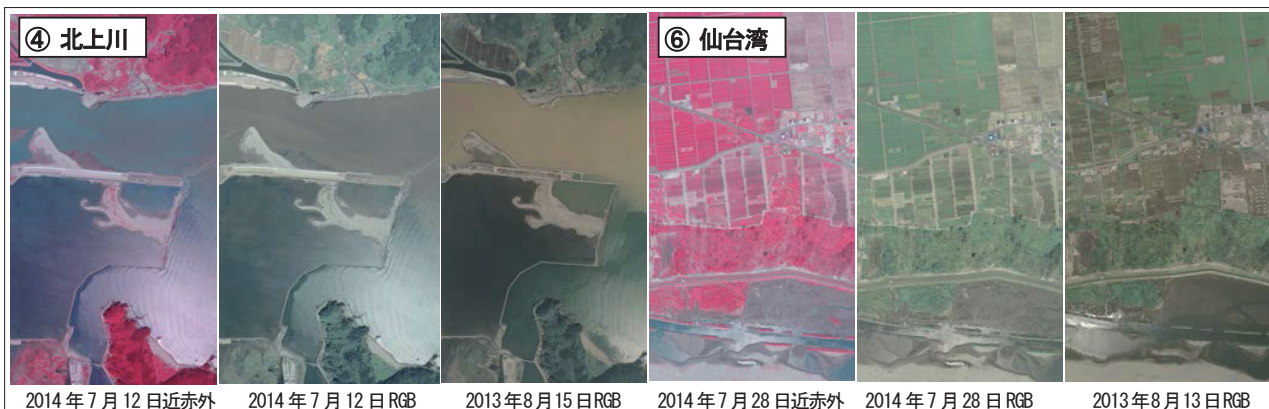


図2 被災地モニタリング空中写真撮影データ

## 斜め空中写真撮影

アジア航測は、東日本大震災が発生した2011年3月11日の翌日以降、被災地の状況把握のため、緊急撮影を実施しました。震災発生から3年後の2014年3月11日、12日、14日に岩手県と宮城県の沿岸を中心に対象の状況把握に適した斜め空中写真の撮影を実施しました。

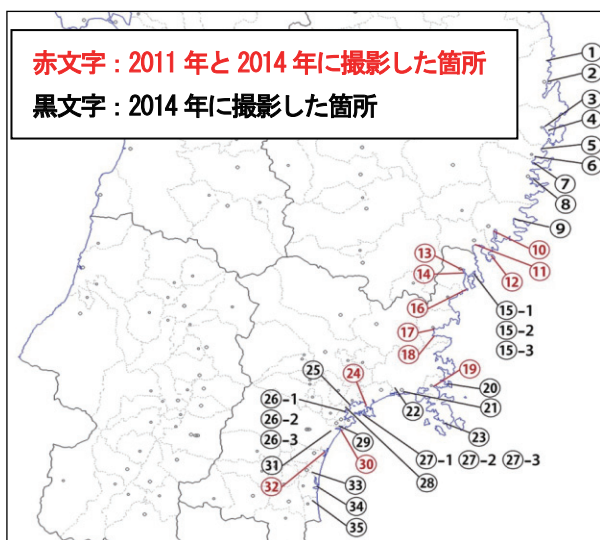


図3 斜め写真撮影標定図



図4 斜め撮影写真

## おわりに

デジタル空中写真撮影による被災地モニタリングで撮影した画像データは一般公開しています。関連する市町村や都道府県、国の事業、大学や研究機関等における研究に活用可能です。詳細は、アジア航測ホームページの被災地モニタリングの撮影画像の二次利用について (<http://www.ajiko.co.jp/csr/ecophoto2013.html>) に記載しています。画像データの利用などのお問い合わせにつきましては、当社担当窓口までお願いいたします。

### 【問い合わせ、送付先】

アジア航測株式会社 本社管理業務部  
 (災害写真・被災地モニタリング写真担当)  
 〒 215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-2-2  
 新百合トウェンティワン  
 FAX:044-965-0040  
 E-mail:[service@ajiko.co.jp](mailto:service@ajiko.co.jp)